

2024-25 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1590 回 (16)

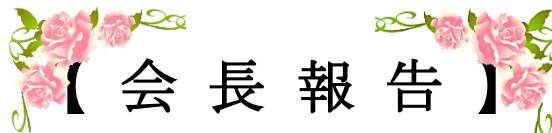
会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「 奉仕によるこび、よりよい社会を築こう 」

日 時	2024 年 11 月 15 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の理想 」 ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

今日の例会は福山北ロータリークラブ・福山西ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問でした。ガバナーとは英語で知事という意味ですが他にも組織のトップの意味もありますので地区のトップがガバナーとよばれるのも納得です。そのほかに自動車のエンジン部品にもガバナーという装置が以前は付いていました。スペルは同じく「GOVERNOR」です。今はそれをコンピューターが担っていますので部品としては付いていませんが機能として残っています。このガバナーが壊れるとエンジンは高回転まで回らなくなるので本来の性能が発揮できなくなります。これは地区ガバナーにもいえると思います。地区ガバナーの良きリーダーシップが有るが故に各ロータリークラブも力が発揮できているのではないのでしょうか。さて、例会に続いて行われたクラブフォーラムでは我がクラブの奉仕活動についてガバナーからの的確なアドバイスと良い評価を頂きました。そのお言葉を励みとし、今後の奉仕活動を充実させていきたいと改めて思ったところです。



【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	
2	
3	
4	
5	

【プログラム情報】

《 ガバナー公式訪問 》



国際ロータリー第2710地区2024-25年度
クラブ公式訪問

2024 - 25年度
国際ロータリー第2710地区
ガバナー 上田文雄

2024-25年度RI会長

ステファニー・A・アーチック

米国ペンシルバニア州、マクマリー・ロータリークラブ所属
コンサルタント及びトレーニングの会社経営
RI理事、財務管理委員長 RI戦略計画委員会委員長
財団100周年記念事業委員長 等 歴任



2024-25年度 RI会長テーマ

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック



2024-25年度 テーマロゴ

重点課題

- ・ポリオ根絶
- ・平和構築、世界の分断を癒すための取組
- ・会員増強のための、クラブ文化の見直し
- ・行動計画に基づく、ロータリーマジックの実行による変化の創出

地区 ガバナー信条

行動しよう未来のために

—変革に取り組もう—

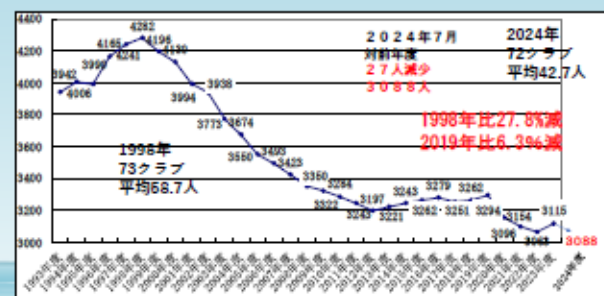
1. クラブ文化を見直そう (DEIの推進)
2. 奉仕活動に取り組もう！

世界の地域別会員数の推移 (7月1日現在) 単位千人

	アジア	豪州	欧州 アフリカ	イギリス	米加	世界全体
2014	343	39	297	50	360	1,188,539
2019	387	34	295	43	337	1,189,466
2023	412	29	292	34	297	1,153,717
2023/2019 (%)	106	85	99	78	88	97
2023/2014 (%)	120	74	98	68	83	97

日本 2019年 89,733人 2024年 82,019人 8.6%減
世界 2019年 1,189,466人 2024年 1,137,992人 4.3%減

2710地区 会員数の推移



2710地区の現状 コロナ禍での会員数の減少

2019年7月 3,294人 2023年7月 3,115人 2019年比 179人(5.4%)の減少
2024年7月 3,088人 2019年比 206人(6.3%)の減少

・グループ別増減 2019年7月→2024年7月

G1 242→262 +20(+8.3%) G2 242→219 -23(-9.5%) G3 248→232 -16(-6.5%)
G4 225→210 -15(-6.7%) G5 214→216 +2(+1.0%) G6 477→459 -18(-3.8%)
G7 492→466 -26(-5.3%) G8 270→248 -22(-8.1%) G9 278→229 -49(-17.6%)
G10 229→187 -42(-18.3%) G11 234→233 -1(-0.4%) G12 143→129 -14(-10.0%)

2019年と2024年の比較、クラブ会員 増加16、減少54(75%) 増減無 2

2019年7月に会員数30人以下のクラブはすべて減少

2710地区の現状 クラブ会員規模別の会員減少率

・小規模クラブが増加 (瀬戸田RC2021年終結)

20人未満 2019年7月 8 2023年7月 10 2024年7月 11 (4クラブ新規)

30人未満 2019年7月 19 2023年7月 24 2024年7月 25 (7クラブ新規)

会員数 人 2019年時点	クラブ数	2019.7	2023.7	2024.7	2024.7 -2019.7	%
30人未満	19	424	348	331	▲ 93	▲ 21.9
30~50人未満	26	1,000	966	946	▲ 54	▲ 5.4
50人以上	27	1,865	1,801	1,813	▲ 52	▲ 2.8

・30人未満の少人数クラブの会員数減少が深刻

・竹原RC 2019年7月25名 2024年7月10名 2024年12月創立60周年を迎え終結

会員減少の要因は？

①退会要因

- ・クラブの魅力の低下
例会中止、交流が限定、活動低下、会員数減少に伴う負担の増加
- ・高齢化・健康問題
- ・経済問題

②入会者が少ない

- ・対象者が見つからない
- ・入会者を紹介する人が限定的
- ・クラブの魅力を伝えきれていない
- ・年会費が高い、昼の例会には出にくいなどで断られる

クラブの課題は？

- ・会員が望んでいることは？
- ・会員の不満、意見、要望を聞いてみよう。特に入会3年以内の会員や、あまり積極的に参加していない会員(入会3年未満の会員は満足度が低い傾向)
- ・退会者がいる場合、その理由は？
- ・**会員満足度調査などでクラブの課題を見つけ、対策の検討をクラブをより魅力的にして、ほかの人を誘いたくなるようなクラブに！**
少人数クラブは、合同例会、合同事業、クラブの統合などの検討も

魅力的なクラブにするためには！！

- ・その後「**魅力的なクラブにするためには**」として再度ファイヤーサイドミーティングを実施。対策案を全員で話し合い様々な改善案が出た。
- ・コロナ禍で対策は不十分だったが、新入会員のフォロー体制整え、WEB併用例会に伴う例会時間の変更(12時15分から食事 報告は12時40分から)、若手に役割分担などの対策を行った。**全員でクラブの課題を話し合うことで意識改革ができた。**
- ・若手が委員長などで活躍することでクラブは活性化し、会員増強にも繋がった。
- ・2024年6月末 会員数66名 平均年齢60歳 最高83歳 最低35歳
40代13名30代1名 2024年7月歴代初めての女性会員1名入会、20台も1名入会 パスト会長も委員長に
- ・若手も地区RLI受講者が増え、意識高い人が地区委員長に

会員満足度調査などでクラブの課題を明確化！

- ・2018-19年度戦略計画委員会として**会員満足度調査実施**
満足度の低い会員の存在
- ・2019年末に岩国RC(当時会員数63名)で、ファイヤーサイドミーティング(炉辺会合)で**3年以内入会者を中心に会員の不満や意見を聞いた。**
- ・ロータリーのことを教えてもらっていない。
例会だけでは交流ができない。炉辺会合を増やしてほしい。
奉仕活動に参加できる機会がない。
60周年事業のような達成感のある事業に参加したい。
例会の席が固定化している。
先輩の話をもっと聞きたい。
女性会員を入れてほしい
などの意見が出た。

クラブの改善事例

- ・上田が岩国RC会長就任時 2016-17年度のクラブ状況
- ・会員数61名 会員数は停滞(高齢者にも無理に残ってもらう)
- ・平均年齢63.1 3年で2.4歳上昇 最高91歳 最低47歳 40歳代7名
- ・出席率が前年度77.6%で、地区74クラブ中73位
- ・奉仕活動はほとんど行われず、親睦中心、委員会も活動低調 G5内評価最悪
- ・7年間で 最低年齢40→47歳へ **なぜ若い人が入らないのか**
元会員の後継者になぜRCに入らないか聞いたところ、
「若い人がいないから」
若い人を一人入会してもらったら、続いて数名の入会があり平均年齢61歳へ

DEIの推進(会員増強、退会防止、出席率向上)

- ・多様性(Diversity) 公平さ(Equity)
インクルージョン(Inclusion)
- ・**誰でも(D) 笑顔で(E) 居心地の良い(I)**
- ・**入会3年以内の会員、若い会員は満足度低い傾向 満足度向上対策が必要**
- ・入会時教育の強化。
- ・フォロー体制の強化。
- ・本人の希望・要望の確認。意見の取り上げ
- ・活躍できる場の設定。早い段階でのリーダーの役割。
- ・クラブの文化の見直しも

会員増強

- ・従来の典型的なロータリアン 年配、男性、経営者または専門職
- ・幅広い対象者を探す。40歳未満の若い人、女性、サラリーマン、定年退職者、主夫、外国人、新規転入者。ロータリアンにふさわしい人とは？
- ・幅広い対象者にオープン例会などに気軽に参加してもらう
- ・入会対象者のニーズの把握、クラブ文化の見直し検討も。
- ・**入会勧誘時の障壁**
- ・年会費が高い、昼間の時間が取れない、
- ・**細則の見直し、家族会員、WEB会員、企業会員など異なる会員種別を作る。**

衛星クラブの新設

- ・会員数8名以上(ロータリークラブは20名以上、来年15名以上になるかも)
会員数は親クラブに含む
親クラブと異なる会則が可能で自由度が高い
多くは、夜間例会、食事なし、年会費10万円以下など
2700地区(福岡ほか)は8衛星クラブ設立、会員増加20名以上のところも
40歳未満の若い人、女性、サラリーマン、定年退職者、主婦
昼、食事なしのクラブも(定年退職者、元ロータリアンなど)
- ・**広島西南平和ロータリー衛星クラブ(2024年6月3日認証)**
12名(女性3名)、平均年齢48才 チャーターナイト 2024年9月9日
オープン例会に来た人など(元ロータリアンも)

ロータリークラブの魅力を伝えよう

- ・入会勧誘時の障壁
- ・年会費が高い、昼間の時間が取れないクラブをより魅力的にして入会促進
- ・ロータリーの魅力とは
 - ・世界につながる幅広い人脈 信頼できる仲間 **相談相手、生涯の友**
 - ・個人の成長と企業の発展（若い人は学びを求めている） **学びと成長**
 - ・4つのテスト 経営者として高い倫理基準 個人としての成長
経営者への信頼感 社員への権限移譲 会社の成長
 - ・奉仕の理念 職業奉仕、社会貢献で、より良い人材の確保、顧客の信頼
 - ・社会奉仕 気づき（新たな視点）、感動（人生が変わるような体験も）
 - ・例会での楽しみ、学び
 - ・親睦 **仲間との楽しみ**

奉仕活動に取り組もう（環境分野）

- ・環境分野は2021年7月から、RIの7番目の重点分野に指定
- ・環境難民（大規模な環境変化により住んでいる土地を離れなければならない人々）は年間2000万人以上（UNHCR）（砂漠化 台風 豪雨 海面上昇）
- ・環境難民は次第に増加、紛争のもとに、紛争により更に難民増加
- ・国連のSDG 13 気候変動に関するポスター製作デパート・スーパーに展示
- ・奉仕活動の意識を高めるきっかけ作り
- ・家庭 ごみの分別、リサイクル、省エネ、リフォーム、太陽光発電等
- ・会社（職業奉仕） 省エネ、脱炭素、新規事業
- ・クラブ 環境分野の団体 例 瀬戸内海のプラスチックごみ対策
- ・ 例 2700地区 宗像RC 漁協と協力して、漁場の回復、

ロータリー財団 補助金実績他

- ① グローバル補助金 2023-24年度2件
 - 下関北 台湾花蓮 東高山RC「心火除検査支援」クラブ\$6,200 総額\$53,840
 - 東広島21 ポリビア チュキアゴ・マルカRC AMEROGTIGOTA 「水頭症」
クラブ\$10,000 総額\$140,240
 - 2024-25年度 広島北RC申請1件「インド乳がん意識啓発及び予備検査と治療過程管理」承認待ち 他申請準備中あり
 - ② 地区補助金 2024-25年度17件
 - 下関西、宇部、徳山、岩国、広島西南、広島東南、広島城南、広島北、広島城北、呉、呉南、西条、福山、福山南、福山丸の内、三次、
 - 呉南（グローバル補助金視察）
- 計17件 補助金申請額 6,040,000 クラブ資金4,548,765 総額10,570,765

ポリオ根絶推進活動（2024年10月21日現在）

野生型ポリオ発生状況	2024	2023	2022	2021	2020
常在国					
バキスタン	39	6	20	1	84
アフガニスタン	23	6	2	4	56
非常常在国					
モザンビーク	0	0	8	0	0
マラウイ	0	0	0	1	0
世界合計	62	12	30	6	140

野生型以外に、変異型ポリオ感染 約1,100件/2022年 ガザでも感染
経口ワクチンの変異型対応ワクチンへの切り替えが進んで減少してきている
日本におけるポリオワクチン接種状況
2011年に経口ワクチンから不活化ワクチン注射に切り替え
4種混合ワクチン 4回接種
ポリオワクチン接種費用 1000億円/年近く掛かっている
2570地区宮崎直前ガバナー ポリオ根絶サイクリングチャレンジ

My Rotary ラーニングセンター活用推進

- ① マイロータリー会員登録の取組実施
- ② ラーニングセンターの利用促進
My Rotary にアクセス、ラーニングセンターを活用する文化を！
・会長、幹事、各委員は各担当コースの受講推進
・新入会員教育、クラブ内の研修にラーニングセンター利用推進
・ハラスメントに対する知識も
- ④ 研修からラーニングへ
教えてもらうのではなく、自ら学ぶ姿勢へ、学ぶ機会の提供
来年の地区チーム研修セミナーは地区チームラーニングセミナーへ
PETS、地区研修・協議会も2025年の規定審議会で名称変更へ

2. 奉仕活動に取り組もう

- ・コロナ禍で奉仕活動停滞
- ・地区補助金もコロナ禍以前より減少（今年度は回復）
- ・戦争、地震等の災害多発、環境問題、人道問題等 奉仕への関心高まる
- ・東日本大震災後 従来募金したことが無い人も募金に応じる例が増えた
- ・能登半島地震災害支援 岩国RCでの募金活動事例
- ・奉仕活動に参加したいとの希望者も増えている
- ・奉仕活動について、クラブで話し合う機会を設けて、取り組みを進めましょう
- ・全員が奉仕活動に対する意識を持てるようにするための活動を！

ロータリー財団支援

- ① 年次基金 150ドル/人 以上
- ② 恒久基金 ベネファクター1名以上/クラブ
または1000ドル以上/クラブ
- ③ ポリオプラス基金 30ドル/人 以上
- ④ ロータリーカードの理解と普及
- ⑤ 会員への財団ニュースのメール配信促進（寄付金の使い道）
- ⑥ ポリオソサエティ（毎年100ドル）
ポールハリスソサエティ（毎年1000ドル）の周知

ロータリー財団奨学生 地区補助金奨学生

	氏名	出身大学	所属クラブ	母国語	専攻	地区DDF	WF上乗せ	合計
24-2500	小林幹子	京都大学	福山南	イギリス	オーストラリアにおけるイギリス移民の歴史に関する研究	\$22,250	\$17,900	\$40,050
24-2500	磯部由典	京都大学	広島安佐	イギリス	アフリカにおける国際的な資金調達メカニズムとアプローチに関する比較研究	\$22,250	\$17,900	\$40,050
24-2500	近藤由衣	上智大学	福山北	イギリス	途上国における国際開発プロジェクトや企業が雇用にも与えるインパクトの野照	\$22,250	\$17,900	\$40,050
24-25地区補助金	久保美真	同志社大学	萩	アメリカ	観光業の発展による地域活性化	\$30,000	\$0	\$30,000
合計						\$96,750	\$53,400	\$150,150

米山記念奨学会への支援

- ・16,000円/人 以上
- ・昨年度 米山奨学生選考基準を変更
- 1. 新規採用は1か国最大30%以内（従来40%）
- 2. 推薦方法の変更 1大学で1か国最大2名まで 推薦枠7名の場合4か国以上 推薦者の中国出身者比率は下がった（コロナ前60%以上から35%）
- 3. 採点方法 の変更 地区数量評価項目追加 日本と母国・世界との懸け橋
- 4. 新規採用 17名（応募31名）中 中国5、ベトナム4、韓国3、インド・台湾・バングラディッシュ・スリランカ・イラン各1名（8か国）
（中国5名は全員文系、1か国最大29%）
- 継続 韓国2・ベトナム・マレーシア・インドネシア各1名計5名 合計22名
2022-23年度の寄付実績により今年度は26名（+4） 大口寄付があったため 世界の分断を癒すためにも 留学生は重要 「ハイライトよねやま」の配信視聴も

My Rotary を開く



ラーニングセンターをクリック



【その他報告】

《入会式》



【新入会員紹介】

氏名 井上 命和 さん
生年月日 1982年7月1日
職業分類 建設業
推薦者 菊池 愛 さん
アドバイザー 下平 靖孝 さん
所属委員会 親睦委員会
社会奉仕委員会



【クラブ活動報告】

特にありません。

